

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	—	○	—	—	○	—
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	—	○	—

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 12. 8	—	08:56	—	9.2	シルト混砂	7.5Y3/2	海草	—	—		
L-2	37.8155°	140.9763°		07:57	08:37	11.6	11.5	シルト混砂	7.5Y4/2	貝片少々海草	1.4	>1.4		
L-3	37.8217°	140.9765°		07:40	08:21	11.5	11.5	シルト混砂	7.5Y3/2	海草少々	1.3	>1.3		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H28. 12. 8	07:57	8.0	0.8	1.0	8.9	4980	33.34	0.9	3	1.4	0.0015	0.0068	0.00087
L-3	37.8217°	140.9765°		07:40	8.0	0.6	1.5	9.0	5010	33.29	0.9	4	1.5	0.0017	0.0075	—

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 12. 8	08:56	7.5	245	30.4	2.4	3.1	2.693	6.3	18.0	42.5	16.7	9.6	6.9	0.42	9.5	20	110	—
L-2	37.8155°	140.9763°		08:37	7.7	244	27.6	1.6	1.6	2.695	0.2	1.3	55.2	36.4	3.4	3.5	0.27	4.8	6.1	52	N. D. (0.15)
L-3	37.8217°	140.9765°		08:21	7.7	240	29.7	1.5	2.4	2.696	0.1	0.5	31.8	58.2	5.1	4.3	0.20	4.8	8.6	44	—

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H28. 12. 8	藻類・植物	—	—	—	—	—	—	0.023	—	—	—	—	7.1	1.6	5.5	—
				H28. 12. 8	環形動物	多毛	サシバコカイ	コカイ	<i>Hediste sp.</i>	カワゴカイ属	291	0.15	成体	—	—	15.1	2.1	13	—	
					H28. 12. 8	軟体動物	二枚貝	マガキ	イホマガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	30	0.32	成体	—	軟体部	1.40	0.30	1.1	—
H28. 12. 8	軟体動物	二枚貝	マルスターガイ	マルスターガイ		<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	77	0.34	成体	—	軟体部	1.1	N. D. (0.32)	1.1	—				

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。